

2000年10月1日発行

YEZO DEER ASSOCIATION
(社)エゾシカ協会



News Letter No.5

事務局: 〒061-0212 石狩郡当別町金沢166-8 / 電話: 01332-5-5533 / FAX: 01332-2-3013 / Email: ida@gallagherage.co.jp

エゾシカ Topic

① ワシ類の鉛中毒死半減 今猟期からライフル鉛弾規制スタート

北海道のまとめ(6月6日の道議会資料)によれば、平成11年の飛来期に鉛中毒死と判明したオオワシとオジロワシは13羽で、昨年度の26羽から半減しました。

これは、鉛ライフル弾の使用自粛や残滓回収を積極的に進めてきた成果とみられます。これだけ鉛中毒死が減少したのは、ハンター、行政、民間団体の協力によって成し遂げられたものと評価されています。

しかし、ワシ類鉛中毒ネットワークのネットワークニュース(6月24日付)によると、これ以外にも5羽の血液が鉛に汚染されており、鉛に汚染されていなかったのは検査した26羽中8羽(30.8%)に過ぎませんでした。

すべての原因がエゾシカ猟に起因するとは断定できませんが、協会としては留意すべきことと考えます。ライフル銃については今猟期から鉛弾規制が始まります。散弾銃はこの限りではありませんが、可能な限り銅弾(サボット弾等)をお使い頂ければ幸いです。

猟期が近づきました。ハンターの会員におかれましては、ライフルの方もショットガンの方も、射撃場でサイト調整と腕ならしを十分に行なって、今年度“ティア・ハンティング”でのクリーン・キルに備えましょう!!



「馬に乗って鹿を見る」トレッキング・ツアー(網走管内美幌町の美幌峠牧場、本文次ページ)

②馬に乗って鹿を見よう！ 美幌の観光モデル事業実施報告 本間浩昭会員

馬に乗ってエゾシカの群れを観察するトレッキングツアーのモデル事業が9月11日、網走管内美幌町の美幌峠牧場で行われました。あいにくエゾシカは遠巻きにしか現れませんでした。馬に乗りながら雄大な自然を散策するホーストレッキングに加え、エゾシカにも出合えるという付加価値に、「価格次第ですが、個人旅行が伸びてきている時代だけに将来性はありそう」などの声も聞かれました。

これは網走支庁が企画したもので、旅行者や旅館・ホテル関係者をはじめ、エゾシカ被害に悩む農業関係者ら約60人が、馬に揺られて馬上からの自然を満喫しました。(社)エゾシカ協会からは大泰司会長、井田事務局長ら3人が参加し、大泰司会長が「子連れのシカが何頭いるかでその年の繁殖状況がわかります」などと生態を解説したほか、料理人としても優れた腕前の井田事務局長が、協会提供の鹿肉でシューパウロー、シチューなどのエゾシカ料理を披露しました。

網走支庁管内では、全道の農業被害のほぼ4分の1にあたる年間11億円以上の農業被害(1995年度)がありました。同管内で過去5年間に5万頭余を捕獲した結果、97年度には3分の2(7億円強)まで減少しましたが、未だに高い被害水準にあります。

美幌峠牧場(350ha)は、エサの乏しい春先に600~700頭が集まるため、牧草被害に頭を悩ませていました。今回の事業は、「これだけのシカが集まるなら、立派な観光資源になりうる」と逆手に取った発想です。「禍転じて福となす」ことができるかどうか、今後の事業展開が注目されます。



部会だより

●C. 被害対策部会より●

技術開発小委員会報告 パート2 地域科学研究所 若菜千穂さん

技術開発小委員会では「シカ柵整備マニュアル(仮称)」の作成に向けて昨年度から計4回の検討会を行いました。活発な議論を経て、マニュアルの目次構成と各執筆担当者が決まり、各々に筆を進めている段階です。

目次構成・案(9月29日現在)

第1章 総論[総括:原(北海道開発技術センター)]

エゾシカの生態やロードキル、レールキルの現状、農業被害の現状を広くとらえます。

第2章 調査編[総括:井部(ライブ環境計画)]

エゾシカの生態調査や交通事故報告システムなどについて整理し、エゾシカ対策を検討する上で大切な情報収集に関して整理を行います。

第3章 計画・設計編[総括:五十嵐(ジー・エイ・シー)]

シカ柵やアンダーパス、脱出用施設などのシカ対策について現状を網羅的に把握すると共に整備効果などについて整理し、シカ対策を講じる際の有益な検討資料づくりを目指します。

第4章 施工・管理編[総括:荒木(アグ・キー)]

施工や施工後の管理における留意点などについて整理します。

第5章 技術資料編

国内の企業および海外の技術について整理します。

今後のスケジュール

執筆者から提出される原稿をたたき台にして小委員会のメンバーで議論を重ね、現実的に「使える」マニュアルづくりに励む予定です。エゾシカ対策の現状や被害の様子、各企業の技術などの情報がありましたら是非、被害対策部会宛にお知らせください。

平成12年度 事業実施計画

3	2	1	12	11	10	9	8	月
・決算、調査報告書作成、提出	・調査結果取りまとめ			・捕獲調査 ・データ整理、分析	・捕獲調査 ・本調査地区タワー設置 ・地区決定 ・実験調査実施 ・本調査要領、記録用紙作成等 ・ハイタワー購入又は製作 ・本調査地区タワー設置	・実施計画書作成 ・調査地区(実験調査1地区、本調査3地区程度)選定検討 ・地元関係機関、団体との調整	・道との受託契約	ハイタワー設置・調査事業
・ニューズレター発行 ・理事会			・ニューズレター発行		・部会 ・ハンティングマニュアル作成 ・解体、衛生マニュアル作成 ・ニューズレター発行	・理事会 ・網走支庁観光モデル事業への協力 ・事務局会議(ニューズレター編集等)	・事務局会議(協会活動計画検討、会員取りまとめ等)	主な協会活動

●ハイタワー設置・調査事業について●

新聞紙上でも報道されていた「ハイタワー方式」は、ハイタワー設置・調査事業として、道庁から当協会が受託しました。事業責任者は(社)エゾシカ協会事務局とし、鈴木正嗣理事の指導下で実施いたします。

1. 目的 エゾシカを安定的な生息水準で管理していくためには、迅速に捕獲数を把握し、それぞれの地域の生息密度に応じて捕獲可能数を配分することのできる管理型の捕獲システムを導入していく必要があります。このため、管理型捕獲システムのひとつとして、欧州で広く採用されているハイタワー方式による捕獲を行い、効果を検証します。
2. 方法 移動型ハイタワーを設置し、予備実験を行い、調査フォーマットを作成します。調査地区は、地元関係機関と打ち合せた後、道と協議の上決定する予定です。
3. 期間 なるべく猟期前に調査を実施し、来年3月20日までに報告書を提出します。



エゾシカ **ガールズ** インフォメーション

食欲の秋ですね。今回は自作の鹿肉料理を味わってみよう、ということで井田事務局長のアウトドア感覚で楽しめる燻製づくり(8月3日付北海道新聞夕刊掲載)をご紹介します。

●井田流 エゾシカ肉の燻製●

- ・まずは下ごしらえ 鹿肉ブロック 1kg 前後を漬け込み液—3%の食塩水に砂糖(水1ℓに対し5g)を溶かし、こしょう、ナツメグ、ガーリックパウダーなどの香辛料を加えたもの—に丸ごと入れて密封し、一週間ほど寝かせる。**ポイント①**肉の表面の脂肪や膜ははいねいに取り除いてから
- ・ここからアウトドアで…バーベキュー用のグリルを使い、少量の木炭に火をつけ、手をかざしてやや温かく感じるくらいの高さに金網をセットする。
- ・漬け込み液を洗い流し、水分をふき取った肉を金網にのせ、表面がカサカサになるまで約1時間あぶる。
- ・いよいよ燻製! 市販のスモークウッド(サクラ、カエデ、ナラ類の小枝も良い)をそのまま炭火の中に投げ入れる。炎が出てしまったら種火から離して消しながら、煙を当て(段ボール箱の底にいくつか小穴をあけ、逆さにかぶせると煙が効率良く当たる)、2~3時間で完成! **ポイント②**小枝はあらかじめぬらしておいて、燃え上がらせずに煙だけ出す
「出来たても、冷やしても、いけますよ!」

事務局だより

《ご紹介します》

・事務局 籠田勝基さん(前鳥取大学臨床家畜衛生学教授)
「衛生マニュアル」作りなどを担当して下さいます。

《まもなくホームページ開設!》

・協会のホームページを開設準備中です。10月
中旬開設予定。アドレスは次回お知らせします。



●社団法人エゾシカ協会会員募集のご案内●

平成12年7月4日に北海道知事より社団法人設立が許可されました。皆様のご協力に感謝いたします。社団法人への移行にともない会員規定が以下のように変更となりました。

◎正会員 正会員の年会費は、1口10,000円とします。ご協力いただける方には、できれば2口以上をお願いしたいと思っております。

また、4つの部会のいずれかに所属していただき、活発な部活動をお願いしております。希望する部会もお知らせ下さい。

◎賛助会員 賛助会員は、協会活動に賛同し、応援したいという方々を対象としており、協会ニュースレターなどの情報を随時お送りします。

1口5,000円で1口以上お願いします。

◎新規会員のご入会はお申込みをいただいてから理事会にはかり、決定することになります。承認後に会費納入のご案内を差し上げます。

社団法人エゾシカ協会会員申し込み書

・□内に×チェック、□には数字をご記入下さい。

□正会員(1口10,000円)を□口希望します □賛助会員(1口5,000円)を□口希望します

《正会員希望の方のみ》

・すべての正会員の方に、ご希望の部会への所属と活動をお願いしています。1つにチェックをお願いします。

□A.保護管理部会 □B.被害対策部会 □C.品質管理部会 □D.有効活用システム部会

氏名又は団体名： _____

(団体の場合) 連絡担当者名・部署： _____

住所：〒 _____

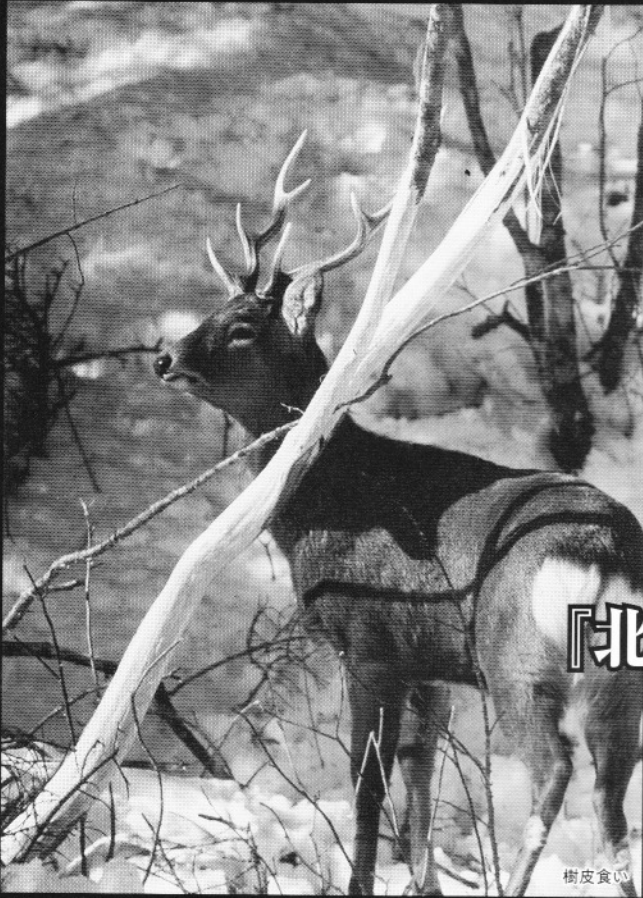
TEL： _____

FAX： _____

Eメール： _____

・会費納入のお知らせはお申し込み後、郵便・FAX・Eメールのいずれかで送らせて頂きます。

お申込み・お問合せ：(社)エゾシカ協会事務局 井田宏之
〒061-0212 石狩郡当別町金沢166-8
TEL：01332-5-5533 FAX：01332-2-3013 Eメール：ida@gallagherage.co.jp



樹皮食い



見事なオス

『北海道の森と鹿と人との共生』

エゾシカ協会のご案内



交通事故対策；鹿肉の有効活用システムづくり



シカ横断用トンネル



赤ワイン煮



スネの甘露煮

エゾシカ協会の目的

北海道東部ではエゾシカが爆発的に増加し、天然林・牧草地・畑での食害や自動車・列車事故が多発するなど、人々の生活との間で深刻な摩擦が生じています。シカ類は、オオカミなど天敵のいない環境下では植生を破壊し尽くすまで増加します。そうした事態を招くことがないよう、またエゾシカと私たちが将来にわたって良好な共生関係を築いていくことができるよう、新たな共生策を探る契機として「エゾシカ協会」が、1999年2月発足しました。

ヨーロッパの狩猟は個体数管理と同時に鹿肉を得るところにあり、肉をできるだけ傷つけないように撃ち、放血を完全に行い、肉処理工場で剥皮・解体・製品化されています。また狩猟そのものを有料化して森林保全の財源としている英国・スコットランドでは、総合的にマネジメントする組織として「シカ協会」が設立されており、国民の理解と協力のもとに実践的な活動が進められています。

新しい共生策の手本をヨーロッパに求め、「保護管理と被害防止、有効活用、それらが効果的に組み合わせられて実現する“森とエゾシカと人の共生”」を、北海道でぜひ実現させたいと考えます。



エゾシカ協会の活動

4つの部会に分かれて活動しています



A. 保護管理部会

- ・センサス、地域別捕獲数の算定への協力、非鉛弾の普及、残滓処理対策の検討など
- ・狩猟ガイドのライセンス制、狩猟区設定の検討など
- ・ハンターの育成

B. 被害対策部会

- ・農林業被害防止方法の検討、森林内の餌場設置の検討、フェンシング手法の指導助言など
- ・交通事故対策、ディアパス(鹿用道路横断トンネル)の指導助言など
- ・養鹿活動に対する指導助言

事務局

News Letter
マニュアル類
発行

C. 品質管理部会

- ・ハンティングマニュアルの検討
- ・エゾシカ肉の品質基準及び表示方法の検討、協会標準運用の可能性の検討など
- ・食肉衛生検査の内容及び方法、体制などの検討、協会標準運用の可能性の検討など

D. 有効活用システム化部会

- ・エゾシカ肉の優れた特性やおいしい料理方法の紹介、消費者向けPRの作成など
- ・ディアウォッチング情報の提供、ホーストレッキングとの連携、ハンティングロッジ、ガイドの紹介、エコ・ツーリズム推進に関する検討など
- ・地域における鹿肉料理の提供、加工製品販売促進について検討

● (社) エゾシカ協会 入会のご案内 ●

◎正会員の年会費は、1口 10,000 円とします。ご協力いただける方には、できれば2口以上をお願いしたいと思っております。また、4つの部会(A,B,C,D)のいずれかに所属していただき、活発な部活動をお願いしております。希望する部会もお知らせ下さい。

◎賛助会員は、協会活動に賛同し、応援したいという方々を対象としており、協会ニュースレターなどの情報を随時お送りします。1口 5,000 円で1口以上お願いします。

◎新規会員のご入会はお申込みをいただいてから理事会にはかり、決定することになります。承認後に会費納入のご案内を申し上げます。

「エゾシカを食卓へ」

大森司 紀之 編著
本間 浩昭
—ヨーロッパに学ぶシカ類の有効活用— 1998年/丸善プラネット

エゾシカ協会の設立趣旨を詳述した本です。定価 2,940円を、エゾシカ協会関係者に送料税金込みにて1冊2,700円で販売します。

「鹿食を忘れてしまった民族へ」: 本間浩昭会員による「狩猟界」連載 Part1~9をまとめました。63頁、送料込み1冊500円。

FAX(011-706-5569)にてお申込み頂ければ、請求書を付けてお送りいたします(料金後納)。

お申込み・お問合せ：(社) エゾシカ協会事務局

〒061-0212 北海道石狩郡当別町金沢 166-8 TEL: 01332-5-5533 FAX: 01332-2-3013 Eメール: ida@gallagherage.co.jp